

集会宣言

岩国基地強化が来年、完成させられようとしています。空母艦載機59機の移駐、F35B配備開始、米軍住宅建設、こうしたことによって、岩国基地は戦闘攻撃機130機前後が集結する東アジア最大の海兵隊基地となってしまいます。しかも、海上自衛隊の航空基地と共同の基地です。そして、岩国市は、米兵、米兵関係者一万人が住む街となります。来年の岩国基地強化完成は、さらなる基地強化の新たな始まりに他なりません。米海軍は、2021年からのオスプレイ岩国配備を今夏、新たに発表しました。わたしたちは、こうした基地強化に絶対に反対です。

いま、中国や朝鮮民主主義人民共和国との軍事的緊張が高まっているなかで、岩国基地は、沖縄とならんで、その最前線基地、出撃拠点基地へと変貌させられようとしています。さらに、中東や北アフリカをはじめ、世界中に展開する出撃拠点となってしまいます。そして、安倍政権は、戦争法を成立させることで、米軍とともに自衛隊を世界各地に出撃させていこうとしています。わたしたちは、これに反対し、戦争法の廃棄を求めます。

岩国市民は、2006年、空母艦載機の岩国移駐に反対する圧倒的多数の意志を住民投票で示してきました。岩国市民は、騒音に苦しみ、米兵による女性への性暴力を含むさまざまな犯罪など、基地被害を強制される不安な生活を余儀なくさせられています。また、東アジア最大の海兵隊戦闘攻撃機の出撃拠点として、侵略戦争に加担させられることを強いられることにもなります。わたしたちは、岩国市民とともに、基地のない安全な生活を求めます。

基地強化は、岩国のみならず全国で進んでいます。沖縄では、高江ヘリパッド建設が強行され、辺野古新基地建設が沖縄の声を無視して進められようとしています。京丹後では米軍Xバンドレーダー基地建設が強行されたばかりか、さらなる基地拡張と福知山（京都府）での米兵の実弾射撃訓練が策動され、神奈川は引き続き米第七艦隊の母港として原子力空母の出撃拠点を強制されています。横田でも、来年、オスプレイ配備が開始されようとしています。わたしたちは、沖縄での高江ヘリパッド建設、辺野古新基地建設をはじめ、基地新設・強化に反対してたたかっている人々との連帯と共闘を強化していきます。

米軍基地強化は、沖縄、「本土」にとどまりません。いま、韓国では京丹後米軍Xバンドレーダーと連動するサード配備に対する反対運動がたたかわれています。これは日米韓ミサイル防衛体制に対するたたかいです。また、フィリピンでも、米軍の撤収をもとめるたたかいが再燃しています。わたしたちは、韓国やフィリピン、さらに米軍の海外からの撤収をもとめる米国内のたたかいとも連携し、アジア太平洋地域から米軍の総撤収をもとめてともにたたかうことを宣言します。

2016年12月10日

アジアからすべての米軍基地撤去を！2017岩国基地大強化反対！

岩国国際連帯集会参加者一同